

# 多機能還元水 洗淨除菌及び菌の繁殖についての比較表

同じ面積の対象をそれぞれ同量の洗淨液で洗い流し、クリーンルーム用クロスで拭き取り汚染物質及び菌の除去と繁殖について、洗淨前・洗淨後・24時間後をATP測定法で検査した平均の結果。

洗淨液	除菌能力 (平均)	24時間後の菌の 繁殖量の平均	元々の菌数を100とした 24時間後の平均の菌数
水道水	23%	8.1倍	623
ナノバブル水	33%	3.0倍	189
次亜水200ppm原液	55%	3.4倍	153
多機能還元水1000倍	82%	2.7倍	48

※ATP測定法とは

全ての生物の細胞内に存在するATP(アデノシン三リン酸)を酵素等と組み合わせて発光させ、その発光量を測定する方法で、ATP拭き取り検査とも言われます。

汚染物質を残さないことが菌を増やさない大きな対策であり、単純に除菌能力が高いだけでは菌管理は行えない。